

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1105
2. 授業担当教員	西田 太郎		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5. 開講学期	秋期
6 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい保育・教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に保育士・幼稚園(または小学校教諭)になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、一対多という状況の中でも物怖じしない態度を身につけられるようになること。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>事前学習として、教科書に基づいたワークシートを自分なりに仕上げた後から授業に臨みましょう。レポート課題についての詳細は、授業の中で説明します。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 新 保育士養成講座編纂委員会『最新 保育士養成講座 第2巻 教育原理』全国社会福祉協議会、2019年。 【参考書】 今井康夫『教育思想史』有斐閣アルマ、2009年。 牛渡敦著『教育学原論』中央法規出版、2008年。 江原武一・山崎高哉著『基礎教育学』放送大学教育振興会、2010年。 小田豊・森眞理編著『新保育ライブラリー 教育原理』北大路書房、2009年。 広田照幸・塩崎美徳編『保育・教育実践テキストシリーズ 教育原理 保育実践への教育学的アプローチ』樹村房、2010年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第4版』中央法規、2013年。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>この科目では、学生同士のグループ討議による学び合いを中心に授業を進めます。自分とは違う考えに出会うことで、一人一人がより思考を深めたり広げたりしていくことを期待しています。</p> <p>事前学習を入念に行い、自分の考えをしっかりともっていることで、楽しく有意義に授業に参加することができます。事前学習課題、グループ討議の記録、学びの振り返りは、各回の授業ごとに提出します。少し大変ですが、これらの学びの記録は、皆さんの財産になるはずです。</p> <p>この授業を通して、学校教育(初等)・幼児教育(保育)についての理解を深め、教師・保育者としての基盤を固めましょう。</p>		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス	事前学習	これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。
		事後学習	教育学に関係のある教育分野について調べ、ワークシートにまとめる。
第2回	教育の意義・目的	事前学習	教科書 pp.8~35 を読み、教育の定義と意義・目的に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「教育の意義と目的」についてレポートにまとめる。
第3回	教育と子ども家庭福祉	事前学習	教科書 pp.38~53 を読み、教育と児童福祉との関連性に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「教育と福祉」についてレポートにまとめる。

第4回	教育の思想と歴史(1) -諸外国の教育思想と歴史-	事前学習	教科書 pp.56~73 を読み、諸外国の教育思想と歴史に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「諸外国の教育思想と歴史」についてレポートにまとめる。
第5回	教育の思想と歴史(2) -日本の教育の思想と歴史-	事前学習	教科書 pp.73~85 を読み、「日本の教育の思想と歴史」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「日本の教育の思想と歴史」についてレポートにまとめる。
第6回	教育の制度(1) -教育制度の基礎-	事前学習	教科書 pp.88~101 を読み、「教育制度の基礎」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育制度の基礎」についてレポートにまとめる。
第7回	教育の制度(2) -教育法規・教育行政の基礎-	事前学習	教科書 pp.101~108 を読み、「教育法規・教育行政の基礎」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育法規・教育行政の基礎」についてレポートにまとめる。
第8回	教育の実践と展開(1) -教育実践の基礎・教育の方法-	事前学習	教科書 pp.110~119 を読み、「教育実践の基礎・教育の方法」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育実践の基礎・教育の方法」についてレポートにまとめる。
第9回	教育の実践と展開(2) -教育の計画と評価-	事前学習	教科書 pp.119~127 を読み、「教育の計画と評価」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育の計画と評価」についてレポートにまとめる。
第10回	諸外国の教育制度と実践(1) -諸外国の教育制度-	事前学習	教科書 pp.130~139 を読み、諸外国の教育のしくみを読み、関心のある国の教育制度の特徴についてレポートにまとめてくる。
		事後学習	国別グループ発表をふまえ、諸外国の教育制度からの学びをレポートにまとめる。
第11回	諸外国の教育制度と実践(2) -教育実践の多様な取り組み-	事前学習	教科書 pp.140~153 を読み、「教育実践の多様な取り組み」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育実践の多様な取り組み」についてレポートにまとめる。
第12回	生涯学習社会における教育の課題(1) -生涯学習社会と教育-	事前学習	教科書 pp.156~162 を読み、「生涯学習社会と教育」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「生涯学習社会と教育」についてレポートにまとめる。
第13回	生涯学習社会における教育の課題(2) -日本における生涯学習-	事前学習	教科書 pp.162~172 を読み、「日本における生涯学習」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「日本における生涯学習」についてレポートにまとめる。
第14回	生涯学習社会における教育の課題(3) -これからの生涯学習-	事前学習	教科書 pp.173~184 を読み、「これからの生涯学習」について予備知識を持つ。
		事後学習	「これからの生涯学習」についてレポートにまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの14回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。
期末試験			